

みずほCustomer Desk Report 2018/05/24号 (As of 2018/05/23)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.88
TKY 9:00AM	110.74	1.1788	130.55	1.3442	0.7578
SYD-NY High	110.92	1.1789	130.65	1.3442	0.7583
SYD-NY Low	109.56	1.1676	128.24	1.3305	0.7523
NY 5:00 PM	110.08	1.1698	128.76	1.3350	0.7559
NY DOW	24,886.81	52.40	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,425.96	47.50	日本10年債	0.0400	▲1.00bp
S&P	2,733.29	8.85	米国2年債	2.5302	▲3.78bp
日経平均	22,689.74	▲270.60	米国5年債	2.8241	▲7.36bp
TOPIX	1,797.31	▲12.26	米国10年債	2.9926	▲6.90bp
ソコ日経先物	22,620	▲320.00	独10年債	0.5035	▲5.35bp
ロンドンFT	7,788.44	▲89.01	英10年債	1.4370	▲8.30bp
DAX	12,976.84	▲193.08	豪10年債	2.8415	▲1.85bp
ハンセン指数	30,665.64	▲568.71	USDJPY 1M Vol	7.25	0.55%
上海総合	3,168.96	▲45.39	USDJPY 3M Vol	7.43	0.33%
NY金	1,289.60	▲2.40	USDJPY 6M Vol	7.90	0.25%
WTI	71.84	▲0.36	USDJPY 1M 25RR	-0.99	Yen Call Over
CRB指数	206.38	0.17	EURJPY 3M Vol	8.18	0.76%
ドルインデックス	93.95	0.34	EURJPY 6M Vol	8.60	0.70%

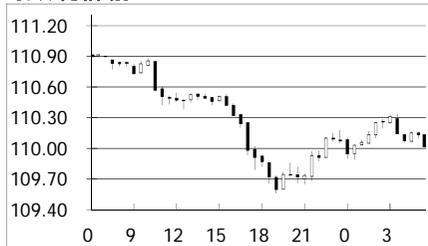
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月23日	17:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	5月 55.5/53.9/54.1	56.1/54.7/55.1
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	4月 0.4%/2.4%	0.5%/2.5%
	22:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	5月 56.6/55.7/55.7	56.5/55.0/-
	23:00	米 新築住宅販売件数	4月 662k	680k
5月24日	03:00	米 FOMC議事録「早めの金融引き締めが適切である可能性が高い」		

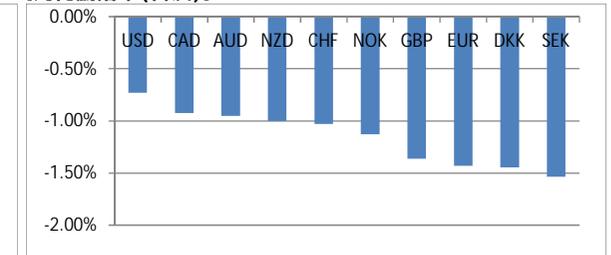
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月24日	15:00	独 GDP(季調済・前期比)	1Q 0.3%	0.3%
	15:00	独 GfK消費者信頼感	6月 10.8	10.8
	17:15	米 ガドリ-NY連銀総裁 講演(ロンドン)	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 220k	222k
	23:00	米 中古住宅販売件数	4月 5.55m	5.60m
5月25日	02:00	英 カーニー-BOE総裁 講演	-	-
	03:00	米 ハーカー-フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-111.00	1.1650-1.1750	128.00-130.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル/円は下落。米朝首脳会談に対する不透明感やイタリアの政治に対する不確実性が広がる中、トルコリラの下落も加わり、ダウ先物が下落するなどリスク回避の動きが一時強まった。ユーロ圏5月製造業、サービス業PMIが共に予想を下回り、リスクセンチメントの悪化等からドル/円は109.56まで、ユーロ/円は昨年8月以来となる128.24円まで下落する場面もあった。その後は、トルコリラの回復やFOMC議事録では特段サプライズな内容はなくややハト派的な内容となったこと等から、米株式市場の買い戻しを受け、ドル/円は110円台を回復、110.08で引けた。米長期金利は再び3%付近まで低下したものの、ユーロ圏のファンダメンタルズ懸念が引き続き意識され、ドルは相対的に買われやすい地合いが継続するか、本日の東京時間はアジア株をみながら、110円が意識される展開を想定。

東京	早朝110.92を示現したドル円は、米朝首脳会談に対する不透明感が増したことを背景に、東京オープン前から軟調地合いとなり、東京時間は110.74レベルでオープン。株式市場も大きく下落するなか、円買いの流れが続き、ドル円は110円台前半まで値を下げ、110.42レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は110.42レベルでオープン。東京時間からのリスクオフの流れを引き継ぎ、米10年債利回りが、低下基調となるなか、ドル円は一時109.56まで値を下げ、109.73レベルでNYに渡った。ユーロは1.1756レベルでオープン。独・欧5月PMIが全般的に低水準だったことや、イタリア新政権への警戒感が高まったことを受け、1.1692まで低下し、1.1701レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3399レベルでオープン。英4月CPIは予想を下回り、インフレ期待が後退するなかで年初来安値を更新し、1.3311まで下落。1.3313レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は109.73レベルでNYオープン。米4月新築住宅販売件数は予想を下回ったものの、TRY売りが落ちついたことや、ドル円のデイトップ買い意欲が強かったことで110.18まで戻す。正午頃になると、トルコ中銀が緊急会合を召集し、後期流動性クイット金利を3%引き上げたことから、リスク回避の動きが後退する展開に110.33まで戻す。午後に発表されたFOMC議事録は、声明文同様弱めの内容でドル売りが強まる局面もあったものの、特段サプライズな内容でなかったことからその後は狭いレンジでの推移が続き、110.08レベルでクローズした。ユーロは1.1701レベルでNYオープン。朝方は、1.1685まで下落するものの、ショートカールの動きに下げ渋る。午後に入り、再びドル買いが強まり1.1676まで下落するが、FOMC議事録を受けたドル売りに1.1710まで戻し、1.1698レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 菊池・森谷